

令和5年度 第2回下呂市教育委員会会議録

1. 招 集 日 令和5年5月26日(金)
2. 会 場 星雲会館 西風の間
3. 開会・閉会 午後4時00分 ～ 午後4時57分
4. 出 席 者 教育長 中 村 好 一
委員 細 江 洋一郎
委員 河 尻 明 子
委員 小 口 晃 生
委員 田 中 由 美
委員 三 木 朋 哉
5. 欠 席 者 なし
6. 委員の他出席者 教育委員会事務局長 林 雅 人
教育総務課長 熊 崎 賀代子
学校教育課 益 田 貴 史
地域振興課長 渡 邊 展
地域振興課課長補佐 古 谷 卓 也

7. 付議案件

- 日程第1 会議録署名者の指名
日程第2 会期について
日程第3 前回会議録の承認について
日程第4 教育長報告及び事務局報告について
日程第5 議第9号 下呂市立小中学校における学校運営協議会委員の任命について
日程第6 協議、報告事項
・各課業務報告
・その他

(開会に先立ち市民憲章の唱和)

教育長 これより、令和5年度第2回下呂市教育委員会を開会します。

初めに日程第1、会議録署名者を指名します。本日三木委員にお願いします。

教育長 日程2、会期について。会期は本日1日としてよろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

それでは会期は本日1日といたします。

教育長 日程第3、前回会議の承認について、事務局より説明をお願いします。

(事務局長 会議録要旨を朗読)

教育長 ただ今の会議録にご異議がある方ありませんか。前回の会議について承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 それでは前回会議録について承認といたします。

教育長 日程第4、教育長報告及び事務局報告をいたします。

- ・臨時議会の報告

4月26日臨時議会がありました。議会冒頭で、初心の挨拶をさせていただきました。宝である子供に軸足を置き、未来志向をもって努力する決意を述べさせていただきました。

- ・河尻明子教育委員の任命書交付式の報告

5月10日に河尻明子教育委員の任命書交付式がありました。5期目の再任として市長より任命書の交付をいただきました。任期は、4年となっており、2027年(令和9年)5月13日までとなります。よろしくお願いいたします。

- ・学校訪問の報告

5月25日学校訪問の残りの8校を訪問しました。本年度の校長先生の経営方針、転入された教職員の皆様の様子、そして児童生徒の様子をお聞きしてきましたが、どの学校も順調にスタートを切っていただいております。懇談の中で学校の教育目標具現に向けた今年のミッションを決めました。(資料配布)机上にお配りしたものです。今年一年、明確な方向をもって経営にあたってください。

- ・岐阜県市町村教育委員会連合会定期総会の報告

5月2日、岐阜市教育研究所にて令和5年度岐阜県市町村教育委員会連合会定期総会が行われ、三木朋哉委員とともに参加してきました。役員承認、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画等の議事後、文部科学省国立教育政策研究所総括研究官植田みどり氏のご講話をお聞きしました。令和5年度の役員として会長には、引き続き岐阜市教育委員の横山正樹様が就任されました。ご挨拶では、教職の魅力をアピールしていくため、教員EA(Excellent Activity)プロジェクトについて述べられました。創意工夫した優れた教育実践等を行う教員の表彰や支援、その実践を発信する事業を市町村教育委員会連合会でやっていくというものです。

植田様の講話の演題、「令和の日本型教育の実現を目指す教育改革～地域づくりと学校づくり～」でお話を伺いました。令和の日本型教育の目指す姿を「全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現」と示され、その実現のための学校づくりと地域づくりについて述べられました。下呂市の教育大綱にも示した学校の役割、地域の役割を明確にすること、そして教育委員会のガバナーとしての役割の充実、ガバナーとしての教育委員会とマネージャーとしての校長による連携・協働が大切であると話を締めくくられました。

- ・青少年育成推進員会議、下呂市青少年育成市民会議理事会の報告

4月25日青少年育成推進員会議、5月15日青少年育成市民会議理事会が行われました。青少年育成推進員会議では、教育大綱の説明、青少年育成推進員の役割、令和5年度の事業計画等確認しました。コロナ禍でもがんばっている子供たちの姿や事実がわからないという課題が出され、推進員さんの中ではラインを活用していくこと。また市民の方にも広めていく方法が議論されました。

その一つである「令和5年度第18回下呂市青少年育成市民会議」については、本年度6月10日(土)13時30分より星雲会館天慶の間にて開催予定です。入場制限をなくし多くの人に聞いていただくという会にもどします。わかあゆ賞については、昨年度同様郵送にて賞状伝達ですが、広報げろやCCNを使って紹介もします。少年の主張大会については、6校の中学校代表者により行われます。

・東海北陸都市教育長協議会定期総会と全国都市教育長協議会定期総会
4月20日（木）から21日（金）に東海北陸都市教育長協議会定期総会が富山県射水市において、5月17日（水）から19日（金）に全国都市教育長協議会定期総会が北海道帯広市で開催され参加してきました。役員承認、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画等の議事後、研究発表がありました。富山県小矢部市の発表では、他部署との連携で作った図書館など補助金の活用の仕方、北海道三笠市の発表では市立三笠高校の特色を支援する市行政の動きについて参考になりました。

・桂川多喜男氏来庁の報告

4月24日（月）桂川多喜男氏が来庁されました。桂川氏は、国際交流事業に対して平成27年より寄付をいただいている方であり、今年も100万円の寄付をいただいております。昨年度、再開した海外派遣事業について報告し、お礼を述べさせていただきました。

・岐阜市子ども・若者総合支援センター視察

5月25日（木）に岐阜市の子ども・若者総合支援センターを視察してきました。教育委員会事務局からは私と事務局長、学校教育課長、課長補佐、福祉部から部長さんをはじめ4人で視察し、計画をしています子ども支援センター建設について参考になりました。発達段階に応じた継続的な支援、ワンストップで総合的に相談と支援するシステムなどを今後検討してまいります。

教育長 教育長報告につきまして、ご質問やご意見ありましたら。お願いいたします。

河尻委員 中原小が廃校になり、中原から下呂小に通っている児童について、親も子ども不安があったと思うが、何もなく通っている状態なのでしょうか。

教育長 校長の話では順調に子供たちの集団に入って過ごしているという話を聞いてきました。

小口委員 市青少年育成会議の開始は何時からだったのでしょうか。

教育長 13時です。小口委員委には審査員になっていただいておりますので、よろしく願います。

教育長 日程第5号、議第9号、下呂市小中学校における学校運営協議会委員の任命について議題とします。事務局の説明を求めます

（学校教育課益田対策監が朗読説明）

教育長 ただ今の説明についてご質問はありませんか。

小口委員 下呂小中のなかに下呂市以外の方がいらっしゃいますが、下呂市以外の方というのはあるのですか。

教育長 岐阜市で最初にコミュニティスクールをつくられた時の岐阜小学校の校長先生で、コミュニティスクールと造形が深いということをお伝えします。

河尻委員 下呂小中のなかで保護者の方がみえませんが、メンバーを考えられる中で保護者を入れられることはなかったのでしょうか。

学校教育課対策監 PTA会長がみえるので、保護者の方は入っております。

教育長 書きぶりが誤っているということですね。どの方が保護者でしょうか。

75番の方が中学校のPTA会長です。

教育委員会事務局長 74番の方小学校のPTA会長と聞いております。

教育長 保護者も入っているということですのでよろしいですか。

小口委員 小坂中の古田教頭が被っていますが。

教育長 古田教頭は南中のPTA会長です。

三木委員 73番と109番も被っていますが。

教育長 役職が福祉関係の方であるので、そういった役職でそれぞれの学校に入っていると考えます。

それでは日程第5、第9号、下呂市小・中学校における学校運営協議会委員の任命について、承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

全員挙手ということで第9号は承認といたします。

続きまして日程第6、協議報告事項であります。まず下呂市地域クラブ指導員の委嘱について、事務局より説明をお願いします。

(学校教育課益田対策監が朗読説明)

教育長 ただ今の説明について、ご質問等ありましたらお願いいたします。

教育長 指導員の報酬はどうなっていますか。

学校教育課対策監 1回の指導につき、謝金を1,500円お支払いしています、昨年度までは年間を通じて36,000円を謝金としていましたが、部活動の地域移行が始まり、厚く予算を組みこんでいただき、前期の上限を36,000円、後期を36,000円として昨年度より謝金を倍増して地域クラブが安定して行えるようにさせていただきました。

三木委員 指導員の中に教員の方は何名みえるのですか。

学校教育課対策監 小学校の教員4名、下呂特別支援学校で1名、全員で5名みえます。

三木委員 先生の負担を軽減するという面がありながら、指導するやりがいを教員の方から奪うのではなく、このように参画される先生がみえるというのはすごく喜ばしいことだと思いますので伺いました。

教育長 中学校の教員につきましては、今年度までは部活顧問ということでさせていただいています。今話があれば小学校の教員でやりがいを持っている人と教育長ということでよろしいですね。次年度は中学校の教員でやりがいを持っている方で行っていきこうというような方向で考えています。現在のところ、中学校の顧問の先生は部活動手当というもので支払いするという方法で行うこととしています。

河尻委員 昨年度までの外部指導コーチと地域クラブ指導員の方と別の研修を受けて、移行後の方が地域クラブ指導員として登録されているのか。昨年とどういうところが違う内容の研修を受けられるのでしょうか。

学校教育課対策監 下呂市の地域クラブ指導員ということで、下呂市教育委員会の方で研修を受けさせていただいています。受けていただいた方に謝金をお支払いさせていただいていますが、41名の方につきましては、市の研修を受けていただいています。ほかの研修を受けたいという方もみえますので、そういった方には県の研修会や連盟の研修会のご案内をしています。

河尻委員 今までも社会人コーチの下呂市の部活動を教えるという研修会があったと思うが、それとは別に地域クラブ指導員となって登録するには、新たな研修会があるわけではなく下呂市で行っている講習会があるんですか。

学校教育課対策監 部活動の社会人コーチとしての研修と下呂市の地域クラブ活動としての研修は同じものになります。特段変わった形のクラブではなく、あくまでも部活動の地域移行されたあとも、部活動の意義とか良さを引き継いでいけるように研修させていただいているので、同等の研修をさせていただいています。

田中委員 指導員の方は学校の育成会から委託があって指導員になられているのですか。
学校教育課対策監 以前までは学校長がコーチを委嘱していたが、地域クラブとして下呂市全体で地域移行するにあたり、学校長から市の教育委員会に推薦をいただいて、市の教育委員会から委嘱をさせていただくこととなっています。

田中委員 たとえば今、小坂中で指導員をされている方が、下呂中に行って指導をすることもあるのでしょうか。

学校教育課対策監 下呂市の子供の人数も減ってきており、活動の場所もその年によって違ってきています。その指導者が学校単位からクラブ単位となって実施することになってきており、複数の学校に集まって実施することがありましたので、指導員の方も集まって指導いただいている方向で、なんとか子供たちの部活動が存続、運営できるような方向でと考えています。

教育長 指導員の人数についてはこれで賄っていけるものなのか、もし賄っていけないようならどのような方向で指導員を増やしていく考えがありますか。

学校教育課対策監 現在41名みえまして、6月2日前に各小中学校に教師でやる気のある方で来年6年度からやっていただける方にアンケートを取っています。アンケートの結果で、各種目ごとに指導者の偏りが予測されています。不足しそうなクラブに関しましては、学校や地域クラブに声掛けし、何とかやっていけるような対策をとっていきたいと持っていますし、できれば学校運営協議会やコミュニティスクール等で呼び掛けていただき、自分たちの地域の中で子どもたちを育てていくという思いの元、指導者を確保して行きたいと思っておりますので、どんどんアピールしていきたいと考えています。

細江委員 中学校の部活ということですので、時間的には4時から始めて5時くらいの1時間くらいですか

学校教育課対策監 平日の部活動については、令和4年度から中学校すべて6校、下校時間を16時半下校とさせていただいています。学校によって違いますが、年間を通じて1回につき、1時間40分程度の部活動の時間を確保しています。ガイドラインがありまして、平日は2時間以内、土日祝日はどちらか1回の活動で、3時間程度というガイドラインを守って部活動を行なっています。今後地域クラブに移行してもガイドラインの中で指導していただけるようにと考えています。

細江委員 下呂中時代の社会人コーチが組織する一般のクラブ活動と学校の部活動が非常に対立してうまくいかない時期があったんですが、この辺のすみ分けですね。もう時間的なすみ分けをするのか、区分けなんかそれをずっともう、クラブ活動も部活も合同でやっていくようなやり方も設置案としてはあるかなと思いますが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

学校教育課対策監 今、全国的に令和5年から7年までの3年間で部活動の地域移行が進んでいますが、その中で新しいスポーツ庁からガイドラインが今出されまして、その中には部活動と地域クラブが両方合わせて、ガイドラインにのっとって行うようにということが出てきておりますので、今までのグレーゾーンですか、部活動でもないし、クラブでもないということが今後なくなっていくと認識しておりますので、その辺を踏まえながら下呂市としても運営していききたいなということを考えています。

教育長 4月議題資料の訂正・追加について、事務局の説明を求めます。
(学校教育課益田対策監が朗読説明)

教育長 ただ今の説明について、ご質問等ありましたらお願いいたします。
(質問等なし)

教育長 次に下呂市公立学校等施設整備計画(令和2～4年度)事後評価について事務局の説明を求めます。

(教育総務課長が朗読説明)

教育長 みていただいて、そのことを踏まえてご意見をいただけたらありがたいです。

小口委員 萩原小学校について、この工事の前は萩原小学校は児童数が増えるにしたがって、校舎の建て増し建て増しで、中へ入ると非常に暗い感じを持っています。だから子供たちがどんな思いでいるのかなという気持ちで、いたんですが、この工事をされて、この写真では普通教室、特別教室がありますが、ここだけじゃなくて廊下が非常に明るくなって、非常に気持ち良くなったっていいですかね、そういう感じがします。だから、ここで勉強して子供たちも本当にいい顔してやってんだろいうなっているのが、頭に浮かびます。そういうことを考えると2番目の新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備の部分については、十分達成できたんじゃないかなというふうに感じています。

河尻委員 長寿命化や安全安心な教育現場の確保っていうのが、最優先の案件だと思っ
ていまして、それが計画とおりに非常に近い形で完成されたっていうのは本当に喜ばしいことだと思います。今回の目標達成状況については本当にそのとおりでなというふうに思っています。その上で加えての意見なんですけど、俗にいう箱モノを作った後が問題というか、よく指摘されるころだと思うのですが、立派なものが出来上がっても、より有効に賢く利用していくことが、これからは工事が完成した意義が目減りしていかないように、有効な活用を考えていかなければいけないと思いますし、学校だけでなく地域の方も利用していただけるようにしていくといいと思いました。

(教育委員会事務局長より、5月27日萩原小学校内覧会実施について報告)

細江委員 つまらないことなんですけど、事後評価とありますが、目標を達成した、達成できなかったっていう事後評価ということに、すごく違和感あるんですが、目標に対して、これを実際に行ってるんですから、実施済みでいいと思うんですよ。それを目標達成ができなかったというそういう言葉自体が違和感あるのですが、いかがでしょうか

教育委員会事務局長 事後評価というのは、整備計画に基づいて、国で定められた様式そのものですので、そこはこちらで準備したものでないの、ご指摘の点につきましても、そういう点でご理解いただきたいのと、例年、教育委員会が行う事務事業に対して、評価をしていただいて報告させていただいていますが、今回の事後評価につきましても、教育委員会の整備事業の評価ということで皆様の意見を載せたいと思っていますので、報告書を作成までの期間でなにかお気づきの点があれば、今後の教育委員会でお寄せいただきたいと思っています。また、昨年までは12月議会で報告ということで評価書を作成しておりましたが、今回からは9月の決算時期に報告できるよう報告書を作成してまいりますので、よろしく申し上げます。

教育長 よろしいでしょうか。時間はまだありますので、また見ていただいたり、或いは言っていて、聞いていただきたいこと等ありましたら、事務局までお願いいたします。

それでは各課の業務報告をお願いします。

(教育総務課長 朗読説明)

(学校教育課長 朗読説明)

(地域振興課長 朗読説明)

小口委員 文化祭の話をされましたが、今出展される方も来庁される方も減って、寂しくなってきたようなことが耳に入りました。文化祭を一生懸命やってくださっていることは本当にありがたいと思いますが、やっぱり作品が減るっていうのは、高齢の方の出展が難しくなったとことが大きな原因とききました。なんとか維持できるというのを、その話をききながら感じています。

地域振興課長 おっしゃる通り、文化協会の人に聞きましたところ、やはり人数が少ないということをおっしゃっていました。何とか出してもらえないかとお願いしましたが、コロナで活動も減り、高齢化により会員数も減ったということをお聞いております。芸能発表の方でも、指導者の高齢化等もありまして、かなり人数が減ってきているということもお聞きしています。来年度の国民文化祭に向けて、もう一度活性化するようなことができるというのを考えております。

小口委員 5月3日馬瀬のあまご釣り大会で、ジュニアサポーターの活動がテレビの「まめなかな」で紹介されており、子供たちが頑張っている様子がよくわかりましたが、もっとそういった情報を流していただくと、地域振興課で頑張ってみえることが広まって理解されると思いながら、テレビをみておりました。

地域振興課長 できる限り、出していけるような形をとりたいと思います。

教育長 ボランティアについて、地域振興課古谷課長補佐の考えはどうか。

地域振興課古谷課長補佐 ボランティアに関わるにつきましては、ジュニアサポーターという形で幅広い事業に対して、各学校の力を借りながら、ボランティア募集を行っております。4月、5月だけでも、先ほどの馬瀬のあまご釣り大会であったりとか、あとは、まるかりの里の整備ボランティア等で、子供たちが生き生きと地域のために活躍をしております。これらの活動なんですけれども、なかなか皆様に周知されないということで、今年度ですが先ほど教育長からのお話にもあったように、例えば下呂市の青少年育成推進員であったりとか、社会教育員委員や、そういった方々にも、子供たちの活躍を知ってもらえるように、ライン等活用して紹介させていただいたりとか、あと報告だけに限らず、こういった活動があるので、もし時間がある方には足運んでくださいということで、紹介をさせていただいたりしておりますので、今年度、継続していきたいと思っております。

教育長 それでは、次回の教育委員会を6月23日に開催することとし、第2回の教育委員会を閉会させていただきます。